

2022年3月11日

課題名：急性膵炎における早期からの経腸/経口栄養や予防的抗菌薬の有無が治療経過や医療費に与える影響についての検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、急性膵炎の治療法について、経腸栄養や経口摂取の開始時期、予防的抗菌薬の有無と治療経過、入院治療費との関連を調べています。本研究では、治療転帰改善や医療費削減につながる治療法を明らかにすることを目的とし、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年1月から、2017年12月までの間に、急性膵炎であると診断され、当院に入院された18歳以上の方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長・体重、これまでの治療経過、飲酒歴・喫煙歴、急性膵炎の成因と重症度、血液検査・CT検査の結果、入院中の治療内容、入院中の経過（院内死亡の有無や感染性合併症の有無など）、入院治療に要した医療費とその内訳

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
消化器内科 研究責任者 上野 真行

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明